

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	26
----------	----

年月日	2023 年 3 月 26 日 (日)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	神戸国際大学附属高等学校										県立藤代紫水高等学校										B
都道府県 三重県			市町村 津市				会場 サオリーナ メインAコート										回戦 3回戦				
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コラット	A	B							
7m得点/総数		A 2/4		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 3/4		7m得点/総数						
		1 1941		2 後 2014		3 2931				1 2829		2 後 2337		3 2849							

No.	神戸国際大附	G	W	2'	D	DR	No.	藤代紫水	G	W	2'	D	DR
1	大西 和真						1	齋藤 慧遵					
2	重田 拓海						2	山本 隼司					
3	大竹 悠仁						3	藤井 悠輔	1		1		
4	山本 煌太	4					4	飛澤 翔	3				
5	吉岡 俊						5	大橋 真人	10				
6	吉川 陽貴	3					6	牛丸 三士朗	7				
7	鎌田 嵩旗						7 c	生鷹 頼太	1				
8 c	岡本 愛斗	6		1			8	小久保 穰	1				
9	岡田 卓也						9	大友 克海	3				
10	澤田 悠大	6		1			10	水野 聖愛					
11	福田 恵太						11	茅場 蒼太					
12	西牧 尚毅						12	上西 光生					
13	梶原 佑一郎	4					13	瀬霜 孝介					
14	三浦 拓斗	1					14	栗山 榴世					
16	中野 純志						15	上野 良祐					
20	石原 幸樹	1					17	山崎 琉偉					
監督A	高橋 裕稀						監督A	小倉 慶輔					
役員B	向井 勝二						役員B	滝川 一徳					
役員C	市原 太基						役員C	会田 亮祐					
役員D							役員D	尾中 祐二					

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	塗矢 岬	荒谷 亮太		
TD	米倉 拓己	松田 一真		
MO	疋田 雅己			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	26	男子 [①]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月26日 (日)	会場	サオリーナ メインAコート		
種別	男子		回戦	3回戦	
Aチーム名			Bチーム名		
神戸国際大学附属高等学校			県立藤代紫水高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
25	12	前半	15	26	
	13	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評			記載者氏名	中森一郎	
<p>藤代紫水と神戸国際の対戦は最後まで1点を争う好ゲームとなったが、一度は逆転を許した藤代紫水が試合終了30秒前の7mTで劇的な勝利を収めた。前半立ち上がり、神戸国際はNo.8岡本の速攻が決まって先制するが、藤代紫水もNo.6牛丸のミドルシュートですかさず追いつく。その後神戸国際はNo.10澤田、No.13梶原、藤代紫水はNo.4飛澤、No.5大橋らで点を取り合って、6分4対4の同点。ここで藤代紫水はNo.5大橋が3点を連続ゲットして7対4とし、神戸国際No.6吉川にステップシュートを決められるも、No.8小久保、No.7生鷹、No.9大友の3連取で15分10対5とリードを広げる。神戸国際も7人攻撃を試みるなど反撃し、終盤No.4山本のミドルシュート、No.10澤田の2本のサイドシュートで3点差まで追い上げて前半を終了する。後半に入り、序盤は神戸国際のペース。No.13梶原のポストシュートで先制すると、No.4山本、No.8岡本らで3分には16対16の同点に追いつく。ここから両チームのスピードあふれる攻撃で、まさに一進一退の攻防が続く。神戸国際がNo.6吉川のスカイプレーで得点すれば、藤代紫水はNo.5大橋がロングシュートを決めるなど、17分23対23の同点。ここから6分間、両チームノーゴールの時間帯があったが、均衡を破ったのは神戸国際。No.10澤田のロングシュート、No.13梶原のポストシュートで一步抜け出す。しかし藤代紫水もNo.5大橋、No.9大友で連取してラスト2分で再び振り出しに戻す。ラスト1分を切って延長戦も予想される中、藤代紫水はNo.6牛丸が7mTを決めて、激戦に決着をつけた。</p>					